





天文十五(二五四六)年、大坂本願寺の末寺とした。とから、金沢は寺内町から城下町へと変化して攻略され、盛政が金沢御堂の地に金沢城を築いの武将柴田勝家の配下にあった佐久間盛政によっの武将柴田勝家の配下にあった佐久間盛政によったことから、金沢は寺内町から城下町へと変化した。

高方石」の城下町として整備された。 電方石」の城下町として整備された。 本課田信長没後の天正十二(二五八三)年、羽柴秀 大江で対決し、盛政も伯父である勝家軍の指揮官として出陣したが、賤ヶ岳の合 で敗れ京都六条河原で処刑された。秀吉は北 で敗れ京都六条河原で処刑された。秀吉は北 で助にに功績のあった前田利家に金沢城に移った。 こののち、明治二(二八六九)年に至るまでの二八六 こののち、明治二(二八六九)年に至るまでの二八六 こののち、明治二(二八六九)年に至るまでの二八六 本間、金沢城は前田氏の居城となり、金沢は「加賀 年間、金沢城は前田氏の居城となり、金沢は「加賀 年間、金沢城は前田氏の居城となり、金沢は「加賀 を持ていた。

きた。後長く使われているが、尾山も根強く使用されてと自称した。利家没後、利長は再び金沢とし、以と自称した。利家没後、利長は再び金沢とし、以

前田利家は天正十四(二五八六)年から十五(三五九二)八七)年に本丸に天守を築き、文禄元(三五九二)八七)年に本丸に天守を築き、文禄元(三五九二)六〇〇)年、関ヶ原合戦の際、二代利長は徳川方六〇六)年、関ヶ原合戦の際、二代利長は徳川方六〇六)年、関ヶ原合戦の際、二代利長は徳川方六の計果、家臣団も急増したことから屋敷割を進め、城下町の整備を急いだ。城の周りにあった村落め、城下町の整備を急いだ。城の周りにあった村落め、城下町の整備を急いだ。城の周りにあった村落との結果、家臣団も急増したことから屋敷割を進たの話果、家臣団も急増したことから屋敷割を進た、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を設け、城下町へと姿を変させ、武家地や拝領地を開いる。

城下町の拡大

側には足軽組地や寺院群が配置された。惣構の内側に重臣層・中堅藩士を配置、惣構の外

され小立野寺院群と呼ばれ、卯辰山麓の寺院群 置といわれる。 の地で隆盛を究めた一向一揆の歴史を警戒しての処 城下町の中に広く散在させたが、それは戦国期こ せられた浄土真宗寺院の多くは寺院群に置かず、 院はごく希で少ない。郡村部から城下町に移住さ あった。この三寺院群の中に浄土真宗(二向宗)寺 が集住するのは巨大城下町金沢ならではの特色で 辺に三つも寺院群が形成され、一〇〇以上の寺院 とともに金沢の三寺院群と呼ばれる。城下町の縁 菩提寺である宝円寺・天徳院・如来寺などが配置 形成された。また小立野台の石引道周辺に藩主 城下の諸寺院が寺町台に移転され寺町寺院群が 寺町台に整備されると、十七世紀半ばまで順次、 野田山に墓地を置いた。前田家墓所への参詣道が 族の墓所を営んだが、のちに家臣団や町人までも 前田家は犀川南部の野田山に歴代藩主とその

金沢で寛永八(二六三二)年と十二(二六三五)年に 地拡大につなげた。他方で三代利常が寛永十六(二六三九)年に小松に隠居したとき、一二〇万石の 地拡大につなげた。他方で三代利常が寛永十六(二六三九)年に小松に隠居したとき、一二〇万石の 所の武家人口が減少に転じた。しかし万治元(二六 町の武家人口が減少に転じた。しかし万治元(二六 聖寺藩・利常隠居領(小松城)が分割され、城下 町の武家人口が減少に転じた。しかし万治元(二六 型力。それ以後の五〇年間に与力・足軽など下級 増加。それ以後の五〇年間に与力・足軽など下級 地紀末には身分別に都市計画された城下町金 沢が整然と完成することになった。

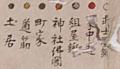
資源学会、日本薬史学会、イベント学会に所属する。り現職。日本古文書学会、文化財保存修復学会、文化川県立歴史博物館学芸専門員を経て平成十九年四月よ故実)、文化資源学。石川県立郷土資料館学芸員、石学部 国際教養学科長 教授。専攻は日本文化史(有職監修 長谷川 孝徳(はせがわ・たかのり)●北陸大学 未来創造監修 長谷川 孝徳(はせがわ・たかのり)●北陸大学 未来創造

職。金沢市史専門委員、地方史研究協議会委員。文学部日本海文化研究室研究員、教職などを経て現海海運)。石川県教育委員会文化財保護課、金沢大学査研究所 所長。専門は日本近世史(藩政・城下町・日本奮集協力 木越 隆三(きごしりゅうぞう)●石川県金沢城調



凡例

古地図にはじめから描かれていた凡例



まっしまり、 家中道(かちゅうみち) 相屋敷(くみやしき) 神社仏閣(じんじゃぶっかく) 可家(まちや) 道筋(みちすじ)



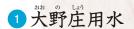
古地図めぐりに便利な ように加えた凡例

[施設] 現存 🔛 跡地

[用水・惣構跡見学ポイント]

- 1 大野庄用水
- 2 辰巳用水
- 3 西内惣構跡
- 4 西外惣構跡
- 5 東内惣構跡
- 6 東外惣構跡
- (i) 休憩館·観光案内所

用水·惣構跡



現在の取水口は犀川桜橋の上流右岸で、河川敷を暗渠で通り新 橋上流で開渠となる。長町武家屋敷周辺を経て犀川河口に注ぐ、



野村家脇石碑

延長約10.2kmの 用水である。鬼 川、御荷川とも呼 ばれ、金沢城を 築くときに、城下ま で木材を運んだと も伝えられる。

2 辰巳用水

寛永8(1631)年の大火の翌年、3代前田利常が金沢城内に引水 するため板屋兵四郎に命じて造らせたといわれる用水で、玉川上

水、箱根用水などとともに、国内 有数の古い用水である。また、兼 六園の曲水の主要な水源として 利用されている。平成22(2010) 年に、東岩取水口(上辰巳町)か ら兼六園までの約11kmのうち流 路が変更されていない約8.7kmが 国の史跡に指定された。



飛梅町地内石碑



3 西内惣構跡



主計町緑水苑

慶長4(1599)年、前田家が徳川 家康に謀反の疑いをかけられた 際、客将高山右近に命じて掘ら せたと伝えられる金沢城西側の 防御ライン。惣構は堀や土塁に よる防御施設であり、尾山神社か ら尾張町を経て浅野川べりまで、 約1.6kmにおよぶ。終点の浅野

川口の主計町では緑水苑として当時の遺構を見ることができる。

4 西外惣構跡(一部、鞍月用水)

これまで慶長15(1610)年に篠原出羽守一孝によって造られたとさ れてきたが、近年、慶長4~6(1599~1601)年に内惣構と同時に建

設されたとの指摘もあ る。本多町3丁目から香 林坊を通り長町の鞍月 用水に至り、同用水と共 用して浅野川まで、約 2.8kmにおよぶ。城側 に土居を盛り、竹薮など の緑地帯を設けていた。 香林坊2丁目街園



5 東内惣構跡

慶長4(1599)年、前田家が徳川家康に謀反の疑いをかけられた際、 客将高山右近に命じて掘らせたと伝えられる城下町東側の防御ラ

イン。小尻谷坂付近 から始まり橋場町を 経て浅野川まで、約 1.3kmにおよぶ。城 側に土居を盛り、竹 薮などの緑地帯を設 けていた。

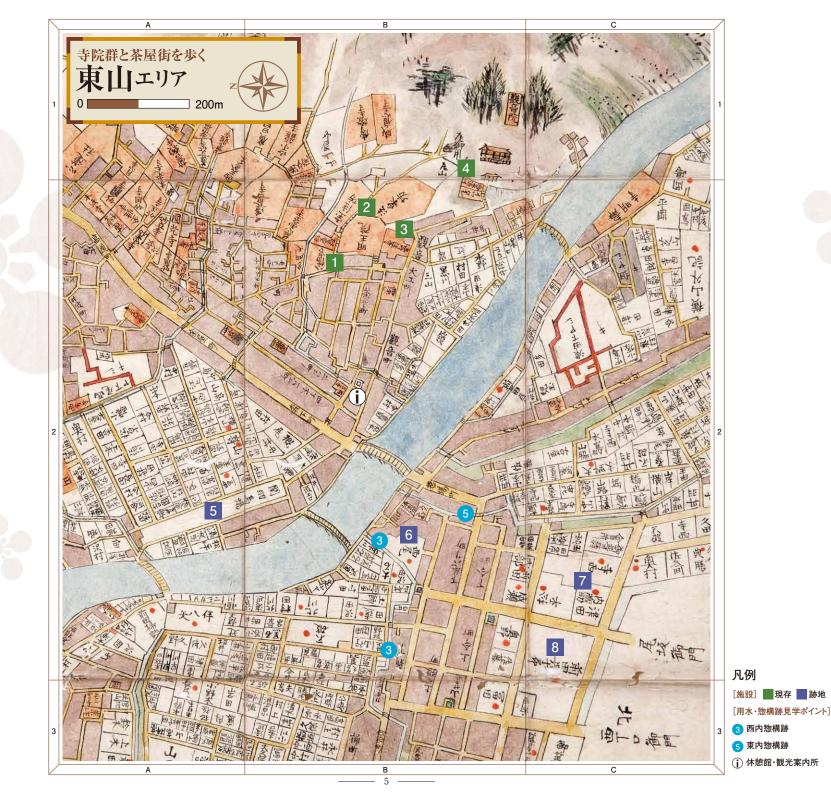


6 東外惣構跡



これまで慶長15(1610) 年に篠原出羽守一孝に よって造られたとされてき たが、近年、慶長4~6 (1599~1601)年に内惣 構と同時に建設されたと の指摘もある。八坂から 材木町を経て浅野川ま

で、約1.4kmにおよぶ。城側に土居を盛り、竹薮などの緑地帯を設 けていた。



寺院群と茶屋街を歩く 東山エリア

1 宇多須神社(八幡宮)

☎076-252-8826(宇多須神社社務所 【 MAP 東山B-2】

2代前田利長が慶長4(1599) 年藩祖利家の神霊を祀るため建立したが、神として公然と祀ることをはばかり、越中守山(現・高岡市)



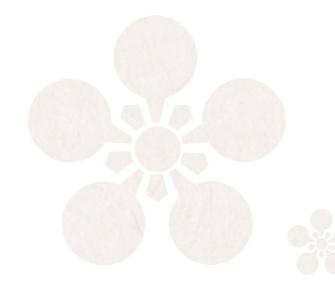
から物部八幡宮、越中阿尾(現・氷 見市)の榊葉神明宮を勧請して、金 沢城の鬼門の守りとした。明治6 (1873)年、利家の神霊が尾山神社 に遷座されたが、氏子に守られ卯辰 山の古名にちなみ宇多須神社となっ た。平成16(2004)年、尾山神社の

分霊を受け、再び利家の神霊も祀られている。

2 宝泉寺(法泉坊)

(宝泉寺寺務所) (宝泉寺寺務所) 【 MAP 東山B-2

乗り してる を 別 支 天を本尊とする。 藩祖前田利家は鬼に 摩利支 天をしのばせ、戦いに臨んだと伝えられる。 泉鏡花の小説 の題材になった五本松があり、 そこからは金沢市街地を一望する ことができる。



3 七稲地蔵

☎076-252-7453(寿経寺寺務所) 【 MAP 東山B-2 】

浄土宗寿経寺の門前にある七躯の地蔵尊。安政5(1858)年6月から3ヶ月間冷雨が続き大飢饉となって米価が高騰、7月11·12日の夜、

民衆約2000人が卯辰山に登り、金 沢城に向かって大声で訴えた。金 沢城下始まって以来の大事件で、 「安政の泣き一揆」と呼ばれている。 その首謀者7人が斬首あるいは獄死 し、その冥福を祈った地蔵である。



4 観音院

☎076-252-6523 (観音院寺務所) 【 MAP 東山B-1 】

はじめ石浦村(現・本多町)にあったが、慶長6(1601)年卯辰山に移転したと伝えられる。元和2(1616)年3代前田利常夫人珠姫の発願で現在地に造営された。以後、藩主前田家の子女は、代々産土神として参詣するのを常とした。旧暦7月9日には藩政期以来の行事「四万六千日」が今も行われ、境内で買ったトウモロコシを軒先につるすと家内安全・商売繁盛などの功徳があると伝えられる。また、藩政期には神事能が催されていた。

5 関助馬場石碑(関助馬場)

【MAP 東山A-2】

3代前田利常のころ、御歩組博労支配兼馬具支配の佐賀関助 (100石)が、荒廃していた馬場を再興したことから、この名がついた。この付近一帯の町名は古くは「馬場」であった。

── 1 ~ 5 まで、およそ1.6km(階段およそ300段あり) ──

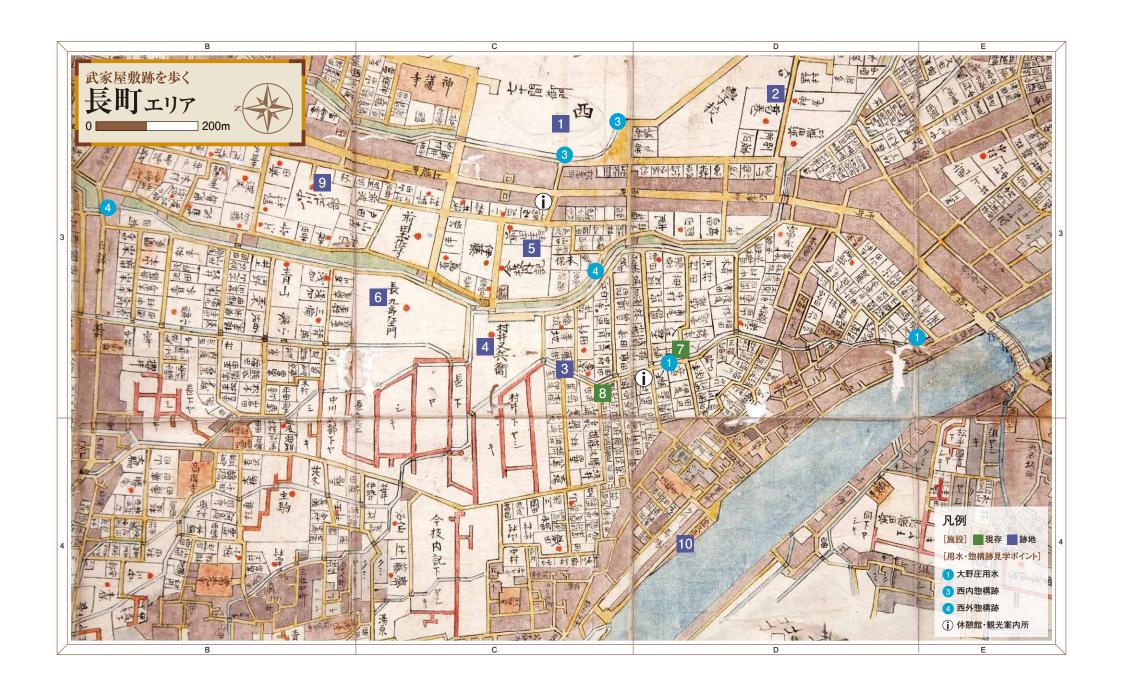
6 久保市乙剣宮·恵寿金沢病院(西尾) (从保市乙剣宮社務所) (MAP 東山B-2)

7 金沢健康プラザ大手町・金沢市医師会館(津町蔵助) 【MAP 東山C-2 】

8 KKRホテル金沢・他(前田与十郎)[MAP東山C-2]







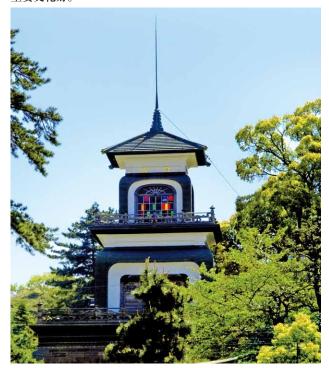
武家屋敷跡を歩く





1 尾山神社(金沢城金谷出丸跡地) ☎076-231-7210(尾山神社社務所) [MAP 長町C-3]

藩主らの隠居所などが置かれた金沢城金谷出丸跡に、旧加賀藩士らが明治6(1873)年に建てた神社。卯辰八幡宮に祀られていた藩祖前田利家の御神霊を遷座し、祭神は前田利家と夫人まつである。明治8(1875)年建立の3層アーチ型楼門の神門は国指定重要文化財。



□ 石川四高記念文化交流館(葛巻) (All四高記念文代流館等務形 (MAP 長町D-3)

寛政4(1792)年に現在の兼六園に建てられた藩校の文学校明倫 堂と武学校経武館が、文政5(1822)年3月にこの地に移転し、明治 3(1870)年に廃止されるまで、教育の拠点となった。明治19



(1886)年、全国5地区に分けて1 校ずつ高等中学校を設立する中 学校令が公布され、翌年第四高 等中学校がこの地に開校、明治27 (1894)年第四高等学校(四高)と 改称された。国指定重要文化財。

3 金沢市足軽資料館(藤掛) (金沢)

加賀藩の足軽であった高西家と清水家の2棟を移築保存展示している。加賀藩の足軽屋敷は一戸建てで、屋敷の周りには生垣を回し、内側に植木が施されていたことから、その様子が再現されている。高西家の足軽屋敷は、加賀藩の足軽飛脚の屋敷地であった旧早道町(現・金沢市菊川2丁目)に残され、平成6(1994)年まで

住居として使用されていた。清水家の足軽屋敷も、高西家と同じく旧早道町(現・金沢市幸町)に残されていたもので、明治時代以降も代々子孫が受け継ぎ、平成2(1990)年まで住み続けられていた。



4 金沢市立長町中学校(村井又兵衛) [MAP 長町C-3]

加賀藩年寄役村井家(加賀八家 1万6500余石)の屋敷跡地。初代又兵衛長頼は天文12(1543)年尾張国荒子村に生まれ、12歳で藩祖前田利家の兄利久に仕えたが、翌年から利家に仕えた。以来利家に従い、数々の戦役に出陣し、天正19(1591)年従五位下豊後



守に叙任し、慶長4(1599)年利家 没後その夫人芳春院が江戸へ人 質として赴く時、これに従った。子孫、 代々年寄役として藩に仕え、前田家 創業時以来の功臣の家柄である。

5 金沢市文化ホール(前田主税・今枝内記) [MAP 長町C-3]

前田主税家(2450石)、今枝家(1万4000石)はいずれも人持組に 列する藩士。今枝家は人持組の中では最高禄高の家柄であり、 美濃国の出身で、稲葉通朝、織田信雄、羽柴秀吉、羽柴秀次に仕

えた。2代前田利長に招かれ、代々家老職を務めた。また、今枝近義は5代前田綱紀の傅役も務め、歴代藩主の中でも名君と言われた綱紀を教育した功績は大きい。



6 玉川公園·三谷産業(長九郎左エ門) [MAP 長町C-3]

加賀藩年寄役長家(加賀八家 3万3000石)の屋敷跡地。長家の遠祖は源頼朝の御家人長谷部信連で、代々能登守護畠山氏に仕えた。 天正5(1577)年上杉謙信が能登に侵攻、長一族は殺害されたが、一人生き残った連龍は織田信長を頼り、同8(1580)年信長より鹿島半郡を与えられた。翌年、前田利家が能登に入国すると、その与力となった。 以後、代々前田家に仕えた。

1~6まで、およそ2.3km

7 武家屋敷跡 野村家

【 MAP 長町D-3 】

8 旧加賀藩士 高田家跡

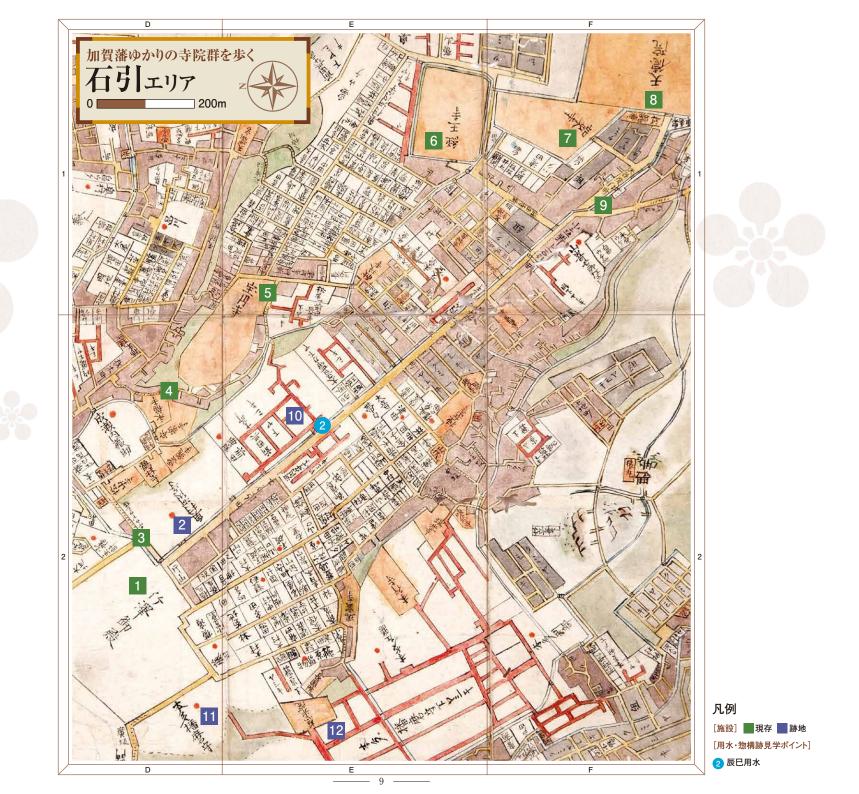
【 MAP 長町C-3 】

9 松ヶ枝緑地(中川式部)

【 MAP 長町B-3 】

10 犀川神社(宝久寺)

【 MAP 長町D-4 】



加賀藩ゆかりの寺院群を歩く 石引ェリア

☎076-234-3800 【 MAP 石引D-2 】 (金沢城·兼六園管理事務所) 1 兼六 園(竹澤御殿)

5代前田綱紀が延宝4(1676)年に金沢城の外庭として蓮池庭を作 ることに始まる。その後、12代斉広が文政5(1822) 年、隠居所とし て竹沢御殿を築造した際、奥州白河藩主の松平定信に「兼六園」 の揮毫を依頼した。13代斉泰は斉広の死後、竹沢御殿を取り壊し、 霞ヶ池を掘り、栄螺山を造るなどして、庭を拡張・整備し、ほぼ現在 の回遊林泉式庭園の形となった。



2 金沢医療センター(奥村河内守)

加賀藩年寄役奥村宗家(加賀八家 1万7000石)の屋敷跡地。奥村 宗家の祖、奥村永福は尾張国荒子で前田利家の父利春、兄利久に 仕え、のち前田利家に仕え、伊予守と名乗った。代々年寄役として藩 に仕え、前田家創業時以来の功臣の家柄である。屋敷は初め、金沢



城内にあったが、 後に、この地に移 転し、明治を迎え た。明治以降は 陸 軍 衛 戍 病 院、 国立金沢病院を 経て現在に至

3 八坂(宝幢寺坂)

昔、付近の木こりが小立 野に通う坂が八つあった ことから、またはたくさん あったことから、八坂という 名がついた。宝幢寺が あったことから宝幢寺坂と も呼ばれた。また、八家 奥村家初代伊予守屋敷 の横の坂であることから、 伊予殿坂とも呼ばれた。



4 木曾坂



【MAP 石引D-2】

宝円寺の裏門にある 坂なので、裏門坂と も呼ばれる。木曽の 山中のような幽邃な 所なのでこの名がつ いたと伝えられる。

5 護国山宝円寺

☎076-231-6050(宝円寺寺務所) 【 MAP 石引E-1 】

曹洞宗の寺院。天正11(1583) 年加賀藩祖前田利家が創建した、 前田家の菩提寺。越前府中(現・福井県越前市)に利家が入部し たとき大透圭徐和尚に帰依して、同9(1581)年能登に入国後、和尚

を迎え七尾宝円寺 (現・長齢寺)を開 山、のち金沢に 移った際本寺を開 山した。利家と徳 川家康が伏見で 会見した際、死を 覚悟して自画像と 髪を埋めた場所と 伝えられる御影堂 と御髪堂がある。



6 寿福山経王寺

☎076-221-4873(経王寺寺務所) 【 MAP 石引E-1 】

日蓮宗の寺院。慶長6(1601)年3代前田利常の生母である寿福院 の実家の菩提寺である、越前府中(現・福井県越前市)の経王寺よ り日護上人を2世として招いて住持とした。寛永8(1631)年江戸で 没した寿福院の葬儀が行われたが、その直後の金沢大火で延焼 し、正保4(1647)年寿福院の17回忌に利常によって再建された。

7 龍宝山如来寺

☎076-221-0833(如来寺寺務所) 【MAP 石引F-1】

浄土宗の寺院。天正年間(1573~92)に越中増山(現・富山県 砺波市) に創建され、のち越中高岡を経て金沢の卯辰山麓に移り、

寛文2(1662) 年現在地に移転 した。徳川家康をはじめ、秀忠・ 家宣・家継・家重などの徳川家 の位牌が安置されている。市 指定有形文化財。



8 金龍山天徳院

☎076-231-4484(天徳院寺務所) 【MAP 石引F-1】



曹洞宗の寺院。3代前田利常夫 人の珠姫(2代将軍徳川秀忠の娘) の菩提寺として、元和9(1623)年 に建立され、夫人の法号から天 徳院と名付けられた。現在の境 内地はかなり縮小されているが、

山門(県指定有形文化財)などの風格には当時の様子がしのば れる。

- 1 ~ 8 まで、およそ2.8km(階段およそ250段あり) ----

9 下馬地蔵

【MAP 石引F-1】

【MAP 石引D-2】

【MAP 石引E-2】

10 紫錦台中学校(前田典膳下ヤシキ)【MAP 石引E-2】

11 石川県立美術館・ 石川県立歴史博物館

12 本多町·鈴木大拙館

(本多播磨守下ヤシキ・本多左膳・本多刑部)

古地図めぐりをする際の留意点

この古地図は、江戸末期の安政4(1857)年頃に作成されたものです。金沢は戦災や大きな自然災害に遭わなかったことから、今も藩政期の町割りが残っています。古地図めぐりを通して約160年前の金沢を感じてください。

- ●後世に、幹線道路の整備や土地の細分化が行われたため、古地図とは違う箇所があります。
- ●寺社、用水、坂道などは、当時のまま残っているものが多く、古地図めぐりの手がかりになります。
- ●主に裏通りでは藩政期の町割りを感じることができます。
- ◆入館、拝観の可否については、各施設にご確認ください。

伝統的なまちなみ保全のための取組み

戦火を免れた金沢のまちなみは、全国的にもめずらしいものです。古くからのまちなみが特によく残る東山ひがし、主計町、卯辰山麓、寺町台の4地区は、重要伝統的建造物群保存地区として国の選定を受けています。

また、歴史的な特色のある地区を、金沢市独自のこまちなみ保存区域として保全しており、現在 9区域が指定されています。

古地図めぐりをガイドします

「まいどさん」は、金沢をより深く知っていただくための活動をしている観光ボランティアガイドです。本マップを活用した観光コースのご相談にも応じますのでお気軽にお申し込みください。

●希望日の10日前までにお申込み

【予約・お問合せ先】

金沢市観光協会 ☎076-232-5555 (10時-16時 土日祝休)

●ガイド料は無料

※まいどさんの交通費、入場・入館料、昼食代等の実費はご負担ください



本パンフレットについてのお問合せ先

金沢市観光政策課 金沢市広坂1-1-1 Tel:076-220-2194



発行:金沢市 金沢市観光協会

このパンフレットに掲載されている解説及びプロフィールは、平成25年時点のものです。